

地方自治体における情報システム（生活保護）の  
標準仕様書改定に向けた調査研究等一式

訪問業務の将来像



Build Beyond As One.®

# 訪問業務に対する理解

- 訪問業務は、**被保護者の生活状況を把握し、被保護者ごとの状況や問題点に応じた援助方針を作成したうえで、援助方針に基づいた指導や支援を行い自立を助長するために実施します。**
- それぞれ異なる被保護者の状況から、真に抱えている問題点や自立を助長するための課題を設定し、援助方針を作成することが最も難しいと認識しています。

目的	✓ 被保護者の生活状況を把握し、被保護者ごとの状況や問題点に応じた援助方針を作成したうえで、援助方針に基づいた指導や支援を行い自立（日常的自立・社会的自立・経済的自立）を助長する
達成するために必要な要素	① 被保護者の生活状況を把握する ② 援助方針を作成する ③ 援助方針に基づいて指導や支援を行う
関係者	【自治体】ケースワーカー、査察指導員 【被保護者等】被保護者・親族・近隣住民（他の被保護者を含む）
業務内容	① 訪問計画を作成する ・ 被保護者ごとに訪問格付けを設定して、訪問計画を作成する ② 被保護者の生活状況を把握する ・ ケースワーカーが被保護者宅に訪問して、生活状況を把握する ・ 被保護者の近隣住民・親族からの情報提供により、生活状況を把握する ③ 援助方針を作成する ・ 生活状況から真に抱えている問題点、自立を助長するための課題を設定し、援助方針を作成する ④ 援助方針に基づいて、指導や支援を行う ・ 訪問等（電話・手紙含む）を通じて、被保護者とコミュニケーションを取り、指導や支援を行う ⑤ 記録を作成する ・ 訪問時に把握した状況、指導や支援をした内容と結果をケース記録に記載する

## 訪問業務将来像

- 被保護者の自立を助長するための指導や支援を行うためには、生活状況から問題点と課題を設定して援助方針を作成することが最も重要です。
- また、自立を助長するための援助方針を作成するためには、被保護者の生活状況を正確に把握することが必要です。
- よって、訪問業務の将来像とは、「**被保護者の自立を助長するために、被保護者に向き合う時間を増やすこと**」と考えています。

業務内容	増加	減少
訪問計画の作成	✓ <b>どの世帯に注力して訪問・指導・支援を行うべきかを考えるための時間</b>	✓ 訪問計画を作成する時間 →システムへ援助方針を入力する時間を削減する
被保護者の生活状況の把握	✓ <b>生活状況を把握するための時間・方法（手段）</b>	-
援助方針の作成	✓ <b>問題点、自立を助長するための課題を考えるための時間</b>	✓ 援助方針を作成する時間 →システムへ援助方針を入力する時間を削減する
被保護者への指導や支援	✓ <b>指導や支援をするための時間・方法（手段）</b>	-
記録の作成	✓ <b>指導や支援が適切なものか、被保護者の問題点や課題は適切か、援助方針は被保護者の自立を助長出来るものかを考える時間</b>	✓ 記録を作成する時間 →システムへ記録を入力する時間を削減する

# 将来像実現に向けた課題

- 業務の将来像の実現においては、ケースワーカーが被保護者に向き合うための時間を増やすために、業務全体の業務時間や労力の配分見直し等が必要です。

## 業務の将来像

✓ どの世帯に注力して訪問・指導・支援を行うべきかを考えるための時間を増やす

✓ 生活状況の把握、指導や支援をするための時間を増やす

✓ 問題点、自立を助長するための課題を考えるための時間を増やす

✓ 指導や支援が適切なものか、被保護者の問題点や課題は適切か、援助方針は被保護者の自立を助長出来るものかを考える時間を増やす

✓ 生活状況の把握、指導や支援を行うための方法（手段）を増やす

## 将来像実現にむけた課題（想定）

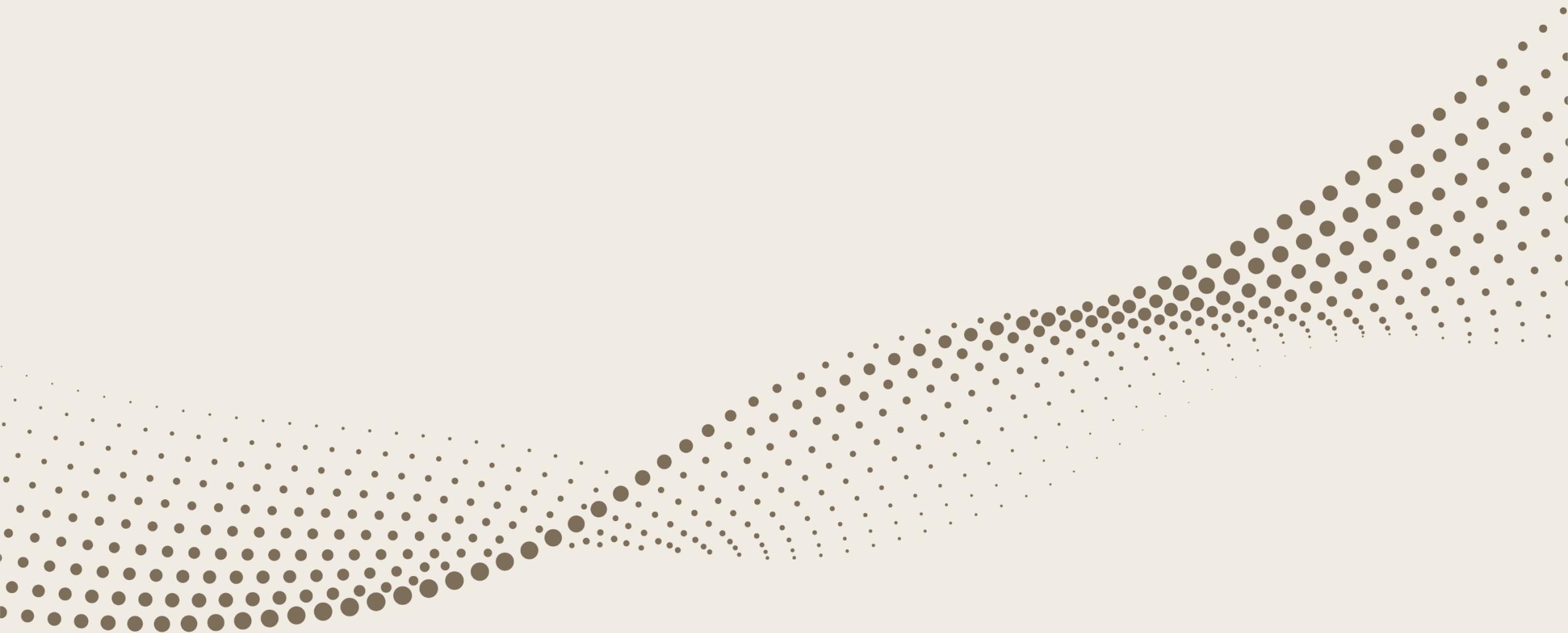
- 注力して訪問・指導・支援をしていくべき世帯を判断するための基準の整備
- 業務全体における時間や労力の配分の見直し

- 業務全体における時間や労力の配分の見直し

- 業務全体における時間や労力の配分の見直し

- 業務全体における時間や労力の配分の見直し

- 訪問以外の方法（手段）の検討



アビーム、ABeam及びそのロゴは、アビームコンサルティング株式会社の日本その他の国における登録商標です。  
本文に記載されている会社名及び製品名は各社の商号、商標又は登録商標です。 ©2024 ABeam Consulting Ltd.



Build Beyond As One.®